

様式第4号（第9条関係）

令和6年2月4日

小野市議会議長 山本悟朗様

派遣議員 宮脇健一

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日

令和6年1月23日（火）10:00～12:30

2 派遣議員

宮脇健一

3 派遣先

リファレンス大阪駅前第4ビル23F

4 内容

地方議員研究会

財政集中講座 自治体財政の基礎

講師：黒瀬雄大氏（元交野市議会議員）

・自治体議員と職員の役割の違い

自治体議員（議会）の役割

1. 政策決定

議員は自治体の政策を決定する責任を持つ。これには予算の決定、条例制定、重要な政策の方向性の設定が含まれる。

2. 代表と監督

市民を代表し、自治体の活動に対する監督を行う。市民の意見やニーズを政策に反映させ、自治体の運営が公正かつ効率的であることを確保する役割がある。

3. 説明責任

議員は、議案の賛否と決定に対して市民に対する説明責任を持つ。

自治体職員の役割

1. 政策の執行

職員は議会や管理職によって決定された政策や施策を実行する責任を持つ。これには日々の管理業務、事業の実施が含まれる。

2. 技術的な専門性

職員は専門的な知識や技術を提供し、効果的な政策実施や運営を支援する。これには予算作成、計画立案、法的コンプライアンスの確保などを含む。

3. 日々の業務

職員は自治体の日常的な運営を維持し、市民が必要とするサービスを提供する。これには公共施設の管理、市民からの問い合わせの対応、緊急事態への対応などが含まれる。

・歳入と歳出の構成

官庁会計では、収入と支出のことを、歳入と歳出と呼ぶ。

4月始まり3月決算。単年度主義、現金主義、単式簿記という特徴がある。

1. 歳入

平均的な市の歳入の構成は、市税が3分の1、交付税と国庫支出金で3分の1、残り（公債費他）で3分の1。

2. 歳出

人件費、扶助費、公債費をあわせて義務的経費と呼ぶ。平均的にはだいたい半分。

- ・ 地方交付税

地方の税収入が歳入全体の3分の1に満たない場合、足りない部分は国から補填する地方交付税という仕組みがある。

- ・ 国庫支出金

国庫支出金とは、地方公共団体が行う特定の事務事業に対して国から交付される給付金のこと。

- ・ 財政の力強さを示す数字

1. 財政力指数

自治体の稼ぐ力を示す。高いほど良い。1を超えると必要な費用をすべてまかなえることになり、交付税がなくなる。不交付団体となる。

2. 積立金現在残高、地方債現在残高

積立金は貯金で、地方債は借金。積立金が増加傾向か、地方債は減少傾向かを確認する。

3. 経常収支比率

財政の硬直具合を表す。高いほど悪い。昔は70%を超えると黄色信号と言われていたが、最近は90%を超えていることも多い。100%を超えると、投資的なことはできない。

- ・ 財政調整基金の役割

季節変動が大きい自治体の収入と、一定している支出のバランスをとる機能がある。また、不足の事態に備える機能もある。

1. 自治体の収入は、月による差が激しい。（地方交付税は年4回、市民税も年4回）

2. 支出は月による変動が少ない。（職員給料は毎月）

3. 収入が足りない月に、財政調整基金で補う。一時借入金という方法もある

- ・ 財政の1年

予算編成のサイクルを知ることは大事。いつ、どこで何が行われているかを知ることで、職員に適切な時期に働きかけることができる。

- ・ 予算編成基本方針を手に入れる
一般的な市では、毎年10月ごろまでに財政課長が「予算編成の基本方針」（市によって名前は違う）を起案し、市長名で各課に通知している。

- ・ 決算審査意見書は宝の山
決算書に付属している決算審査意見書は、効率よく決算の問題点がわかる宝の山。

- ・ 予算編成の留意事項をチェックする
地方自治体の財政担当者が最も重要視する国の予算が、総務省の「地方財政対策」。中でも、「予算編成の留意事項」は国が地方にやって欲しい事業の一覧。

- ・ あまり知られていない財政の根本的な課題
 1. 長期的な財政の見通しが公開されていない
多くの地方自治体では、長期的な財政計画や予測が十分に公開されていない。市民や地方議会は自治体の将来の財政状況を正確に把握しにくく、長期的な財政健全性や持続可能性についての評価が困難。
 2. 受領できる補助金が初期コストに偏重
国からの補助金は、「初期コスト」に偏重しており、「運用コスト」には出ない。このため、初期の低い自己負担によって建設した施設の多大な運用コストに悩まされる。
 3. 将来人口の独自推計の甘さの時限爆弾
「人口ビジョン」で将来人口を甘く推計している場合、その人口に基づいて計算された各種計画が軒並み費用超過になる可能性。
 4. 予算編成過程の不透明さ
予算がどのように編成されているのかは、本来は公開されるべきものだが、現実にはあまり公開されていない。

5 所 感

自分のような1年生議員にとって、財政は1番勉強しなければいけない分野だと考えています。9月に決算を経験し、迎える3月には予算があります。そこで一度研修に行ってより知識を深め、議案の審議や議会活動に活かしたいという思いでこの研修に参加しました。

財政の基礎的な内容が大半でしたが、自治体議会（議会）の役割と責任は、全体の方向性をチェックすること。国と方向性が合っているか、違うとしてもその理由は何に基づいているのかを確認することが重要だということを改めて認識しました。